

神田通信

◆福島大会の折に、かわいらしく丈夫な葉（生徒さんの手づくり）を頂き、大切に使用しています。見る時、さまざまな事を思います。有難く……。 (奥田)

◆台風で実家の屋根瓦が吹き飛んだ。誰も住んでいないこともあり取り壊すことに。形ではない心が大切と思うものの、過去が消えていくようで。 (磯田)

◆先月の台風で銀杏の南側の葉が茶色に枯れ、反対側は緑を保っている。近くの木々もほとんど南側だけ枯れている。風向きのわかる台風であった。 (大浪)

◆もう十二月号、本年も雑事に追われ、歌の進歩はありませんでした。明年は大成長を期してがんばりたいと思います。

(藤森)

◆ある雑誌で八木重吉の特集をしていた。短い教師時代、苦渋に満ちた短歌を綴っていたことを知って驚いた。闘病の中の透

明な詩との、この差！ (和美)

◆「没イチ」、パトリナーを亡くしてからの生き方という本が出た。パツイチは知っているが、ボツイチ。これから流行りそう。著者は小谷みどりさん。

(茂木)

◆桃原邑子歌集「沖繩」を読売新聞に取り上げてくださった俳人の長谷川樞氏が、同じ欄に小野茂樹の「かの村や水きよらかに日ざし濃く疎開児童にむごき人々」(黄金記憶)を取り上げてくださったのを小林能子さんが教えてくださいました。

(小野)

◆急に寒くなり寝る直前に冬の寝具を出したらアレルギー症状の鼻水が。防ぐためには使う前に寝具を一度洗うと良いらしいがなかなか出来ません。(玉井)

◆何してるんですか？おっちょこちよいの蛙と歌ってます。こ

いつ、メスと思って飛びついたら、オスだったんですよ。：無償の会話：テレビより。(三好)

◆棚田で有名な明日香村稲淵地

区の家山子ロードを見に行った。そこで尾花の下にナンバンキセルを発見。万葉の歌びとが歩いた里にふさわしい。(高尾)

◆日照りでちぢれていたコスモスも無事に咲き、種の落ちるのを待つばかり。秋風が日ごと畑や町の色を変えていく。(浜谷)

◆「宗像教授伝奇考」という、漫画本を読んだ。考古学と民俗学と現代風俗をほどよく混ぜ合わせた面白い読み物だった。図書館って便利だと思う。(成彦)

◆果樹園を営む友人が「収穫が例年の四割」と言う。雨が降らなかったのに灌水が足りなかったのだと。彼女が「林檎の木は雨が好き」と言っていたことを思い出した。(藤田)

◆八月の「現代短歌新聞」の見出しの中に「結社誌はやがて電子化され、紙ではなくなる」と。そして、親戚の小学生が「将来はユーチューバーになりたい」と。すこし驚いた。(楡垣)

◆十月は忙しかったけれど(まだ終わっていない)、国民文化

祭で九州に行ったついでに、福岡県在住の中島彰代さんと篠原まり子さんに会って、たっぷり話をしました。

◆さて、今号は特集(滝田靖子あつらカルト)。短歌に作家論にエッセイと、どれも読み応えのある内容です。地中海にこういう才能がまだまだ眠っている(?)こと、ちょっと誇らしい。滝田さんを皮切りに今後も続きます。地中海のウェイブ！

◆冬のアンソロジーは(雪)。この一年に出版された地中海叢書一覽もご覧下さい。

◆平成も最後の冬から年明けへと向かっていきます。皆様、どうぞお大切に！ (久我)

●12月・1月の本社予定●

12月4日(火)：校正

12月14日(金)：編集

*12月の歌会はお休みです

1月7日(月)：校正

1月16日(水)：編集

1月26日(土)：歌会

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名(ふりがな)

②住所 ③電話番号 ④生年月

日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)

月を記入の上、本社に提出して

ください。退会届の場合は、①

②⑥の記入をお願いします。急

な送本停止には対応しきれませ

るので、ご了承ください。

■会費納入について

三月末をもって会計年度の締

めになります。新年度が始まり

ました。平成三〇年度分の会費

を納入してください。会費は、

半年分、または一年分を前納す

ることになっています。各欄の

月額は次の通りです。

・ A欄 二〇〇〇円

・ B欄 一五〇〇円

・ C欄 一〇〇〇円

・ 購読 一〇〇〇円

誘ってください)

00160・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお

書きください。支社・グループ

でまとめて納入していただける

と幸いです。

■原稿用紙の申し込みについて

一冊一五〇円。それに送料が

かかりますので、まとめてのお

申し込みがお勧めです。本社、

または担当の茂木斌までご連絡

ください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡くださ

い。代金は一冊一〇〇〇円。会

費と同じ「地中海社」の口座に

お願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めにな

る場合は、送料のみご負担いた

だきます。二冊までなら二〇〇

円分の切手を同封してお申し込

みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求くだ

さい。葉書に住所氏名の他に、

①歌集名(未定の場合には仮題

でも)②発行時期 ③版元を記

入して本社宛に。折り返し、登

録した叢書番号と事務手続きの

文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊

お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌

集出版を考えていて、自分では

どうしていいか分からず困って

いる方のために立ち上げました。

印刷・製本は、本誌の印刷をし

ている京成社にお願いしていま

す。二、三〇万円くらいでも予

算に応じた出版が可能です。ま

ずは、編集部にご相談ください。

■桃園原巨子歌集

『沖繩〈新装版〉』注文受付

ご注文を受け付けています。

一冊2000円(税と送料は桃

原氏負担)です。六花書林から

の出版ですが、代金の振り替え

は九曜書林の口座を使わせてい

たきます。口座への代金納入

をもってご注文とさせていただきます。

冊数・氏名を明記の上、

左の口座へお願いします。

本社よりスマートフォンにて
お送りいたします。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。

電話はありますが、常駐する者

がおりませんので、誰かが本社

で作業している時にしか通じま

せん。急を要する場合には、

・藤森：TEL 090-8301-6423

・久我：TEL & FAX 043-241-7925

までご連絡ください。

■本社の窓口は、いつでも開い

ています。どんなことでも遠慮

なくご相談ください。歌集の出

版につきましても、予算やご希

望に応じてできる限りの対応を

させていただきます。ご意見そ

の他もどうぞお寄せください。



古典基礎語、その他。 「読み書き」いろいろは。

- ある【生る】：生まれる ●あまた【数多】：多く。たくさん。
- あまがける【天翔る】：天空を飛び走る ●あやむ【殺む】：殺す ●おそなつ【晩夏】 ●こもりぬ【隠り沼】：隠れて見えない沼
- こぼつ【毀つ】：こわす ※こぼたる【毀たる】：こわされる
- しまふ【歳ふ・仕舞ふ】：入れ納める ●そべへ【日照雨】：日光がさしているのに降る雨。天気雨 ●ちよこ【猪口】 ●なる
- 地震 ●なだり【傾り】：傾斜。傾斜地 ●ほる【欲る】：ほしがる ●ほてり【火照り・熱り】 ●もみち【紅葉・黄葉】
- よも【四方】：しほう。あちらこちら
- みくまり【水分】：水配（みくばり）の意。山から流れ出る水が分かれる所。 ●ひひな【雛】 ●いちやう【銀杏・鴨脚樹・公孫樹】
- ※「いてふ」の仮名を慣用するのは「一葉」にあてたから。
- うぶすな【産土】：人の生まれた土地。生地。
- まかけ【目陰・目影】：遠方を見るとき、額に手をかざして視線をさえぎること。 ●まがごと【禍言・禍事】：縁起の悪いことば。
- 不吉な言。わざわい。凶事。 ●みなわ【水泡・水沫】：水の泡。
- やすい【安寝・安眠】：安らかに寝ること。
- はふる・はぶる【葬る】：埋葬する。
- すゑ【裔】：子孫。末裔。 ●たなごころ【掌】：てのひら
- かけ【光】：日・月・灯火などの光。
- ゆふかけ【夕影】：夕方の日の光。夕日の光。夕日をうけた姿。
- はく【刷く】：眉墨・白粉などを塗る。 ※「眉を刷く」「一刷けの雲」

【古典基礎語辞典】『広辞苑』など参考)

主催 現代歌人協会
後援 現代歌人集會 京都新聞

現代短歌フェスティバル イン 京都
〈平成時代の短歌を振り返る〉

平成の時代が間もなく幕を下ろそうとしています。

三十年余りの歳月は、短歌の世界に何をもちたらしめたのか、あらためて考えてみたいと思います。十二年ぶりの関西でのフェスティバルで、多数のご参加をお待ちしています。 (総合司会 沖ななも)

I 対談 —— 大島史洋・林和清 (司会 栗木京子)

II 五分提言 —— 大森静佳・楠誓英・澤村育美・嶋田さくらこ・
勺 彌子・土岐友浩・鳥居・吉岡太郎

III パネルディスカッション (司会 吉川宏志)
坂井修一・東直子・島田幸典

日時 二〇一九年三月三十日(土) 十三時〜十六時半

会場 京都教育文化センター ☎075(771)4221

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4の13
(京阪電車・神宮丸太町駅から徒歩3分)

会費 二〇〇〇円

申込み 現金又は為替を同封し、三月十五日(金)までに左記宛に郵送ください。聴講券をお送りします。

※現代歌人協会会員の方は無料ですが、予め左記宛てに葉書まで

お申し込みの上、当日直接会場にお越し下さい。(定員 三六〇名)

申込先 〒700-0003 東京都豊島区駒込 1-35-4-502

現代歌人協会「現代短歌フェスティバル」係

☎03(3942)1287 (平日10時〜16時)